

会長辞任のご挨拶

二十年前の 1990 年に故伊地智善継先生（前大阪外国語大学学長）の創設された「日本ビジネス中国語学会」の理事長に推され、その後十年目の 2000 年には会長職につきました。

この会長職も十年経過し、今年で満八十歳を迎えました。気持ちはまだ若いつもりでしたが、体のほうが後期高齢者であることをいろいろな面で教えてくれ、このままでは責任ある会長職を何時突然に投げ出しても不思議でない状態であることを思い知らされるようになりました。

理事長十年・会長十年のちょうどよい区切りでもありますので、2010 年の総会にて会長職を辞任させていただくことと致しました。

ただ、終戦後間もない 1948 年から中国語を学び始め 1951 年の学校卒業後は一貫して中国語をビジネスに使いビジネスマンとして、また教員として六十有余年を生きてきた私から今後も中国との関係や中国語そのものを取り去ることは恐らく無理だろうと考えております。ストレスのかけり責任を負うべき会長職は自己都合で退かせてはいただきましたが、中国・中国語との関係は命のある限りは続いてゆくものではないかと考えております。

そのような考えから、日本ビジネス中国語学会のメンバーにはなお厚かましく残らせていただき、学会関係者の皆さんからのいろいろな面でのご教示とお付き合いをお願いする次第です。

幸い、学会設立当初から学会の理事を一貫して勤めてきていただき、また故伊地智善継先生の愛弟子であられた流通科学大学名誉教授待場裕子先生に、今般次期会長を引き受けていただくご承引をいただきました。今後は何卒私任時同様のご協力ご指導をお願いする次第であります。

2010 年 8 月吉日

藤本 恒